
僕の生きる世界

リスト

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕の生きる世界

【Nコード】

N9026P

【作者名】

リスト

【あらすじ】

大切な人。

世界があなたを忘れても
生きることをやめないでください。

僕があなたを忘れませんから。

『夕日の見える坂で、また逢えるといいね』

彼女の台詞が耳に残る。

幾千もの星空が

僕の身体を包み込んでくれる。

もう誰もいないこの部屋で

空しく響く呼吸音は

僕が出しているんだろうか。

それとも彼女の温もりだろうか。

少し広く感じるベッドで

世界から隔離されるとき

深い夢へと誰かが誘^{いざな}う。

それも彼女なのだろうか。

君を失ったこの世界に

興味を忘れてしまった僕は

これからどうすればいいのだろうか。

そうだ。

あの坂へ。

彼女に逢いに行こう。

そこには当然彼女はいない。

でも、確かに足跡はあった。
夕日が色濃く輝いてた。

『キセキ』とでも言うべきそれは
誰も想像もしないほど
僕の心を揺さぶったのだろう。

雨が頬を濡らした。

が、すぐに止んだ。

彼女だった。

傘を片手に待っていたのだ。

夕日の見える、この丘で。

気がつくとベッドの上だった。
夢。

そうつぶやいてみた。

これから彼女に逢うことはない。
世界は彼女を忘れてしまったからだ。

しかしそれでもかまわない。
僕が生きていく限り
彼女は心にいるのだから。

(後書き)

あなたと大切な人がいる世界が
何よりも大事なんですよ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9026p/>

僕の生きる世界

2011年1月8日23時10分発行